

# 第1回 「深川江戸資料館」 & 「清澄庭園」



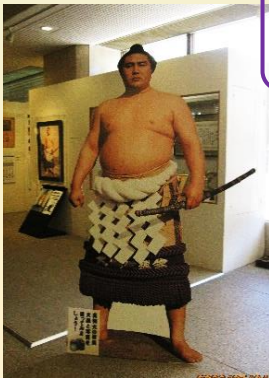
江戸時代の庶民の暮らしぶりをリアルに再現した資料館です。江戸時代末期の深川の街並みが実物大で再現されており、



その時代に庶民がどのような生活をしてきたか分かりやすく学べます。



## 横綱大鵬顕彰コーナー



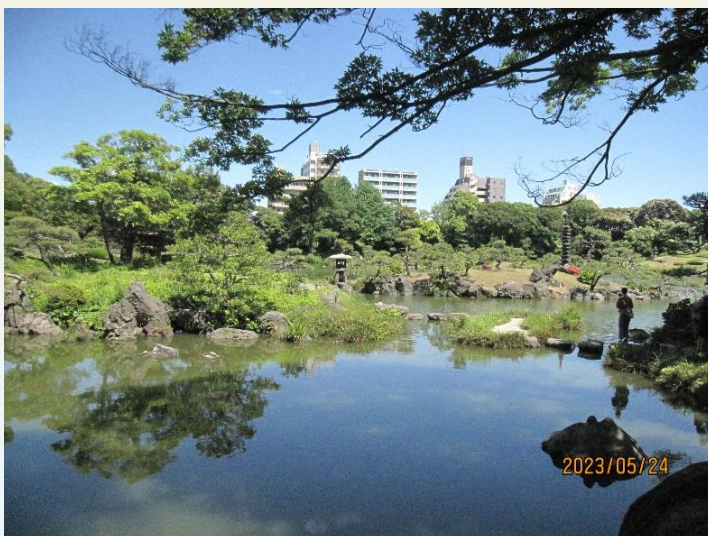
忍  
「心」の上に「刀」を乗せて生きて行く。



2023.1.19 死去 72 歳  
2023.2.25 国民栄誉賞  
白鵬も出席



## 都指定名勝 清澄庭園



岩崎彌太郎ゆかりの深川の名園  
花菖蒲や紫陽花などが、緑が深まる初夏の庭園を彩る

季節を迎えます。水辺に凜と咲く花を愛でながら、庭園でのひと時を楽しめます。







第2回

「そなエリア東京」

[東京臨海広域防災公園]



そなエリア ケヤキ並木



正面玄関



ナチュラルスティックガーデン



2023/06/28



避難所再現

Memories from an evacuation center

東日本大震災 福島県いわき市内の避難所事例を再現しています。

音響・証明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。



2023/06/28



2023/06/28

防災説明を聞きました



2023/06/28

屋上庭園の眺め

高橋武三



# 第3回 「小石川植物園」

東京大学大学院理学系研究科附属植物園は、一般には「小石川植物園」の名で呼ばれ親しまれており、植物学の研究・教育を目的とする東京大学の附属施設です。約340年前の貞享元年（1684）に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」がこの植物園の遠い前身で、明治10年、東京大学が設立された直後に附属植物園となり一般にも公開されてきました。面積は161,588m<sup>2</sup>（48,880坪）で、台地、傾斜地、低地、泉水地などの地形を利用して様々な植物が配置されています。



本館



旧東京医学校本館と日本庭園



ニュートンのリンゴの木



柴田記念館



秋の象徴 彼岸花



旧小石川養生所の井戸



キミガヨラン

高橋武三



# 第4回 曹洞宗 大谿山 豪徳寺

世田谷区にある曹洞宗の寺院です。彦根藩主・井伊家の江戸における菩提寺で、井伊家ゆかりの文化財を多く所蔵、世田谷区でありながら緑豊かな地にあり、都会の喧騒を忘れてしまうほど、心安らく静寂な時間が流れます。はじめは、一匹の猫が鷹狩り帰りの殿様を寺に招いたこと。それが彦根藩主の井伊直孝でした。豪徳寺は直孝に支援され、1633年に再興しました。



2023/10



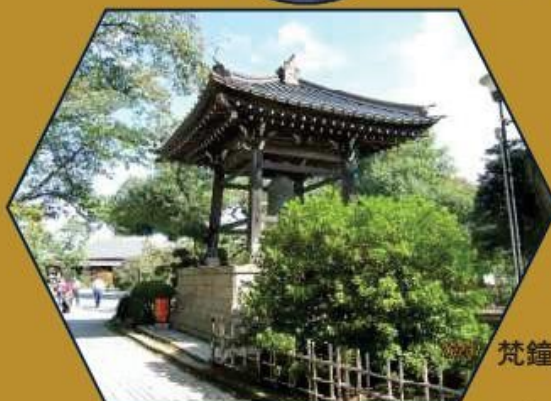
三重塔



山門入り口



法堂



梵鐘



# 第5回 法務省 旧本館 & 日比谷公園

「法務省旧本館」は歴史的建造物（重要文化財）です。中央合同庁舎第6号館赤レンガ棟ともいう建築面積3369㎡地上3階、旧司法省庁舎として1895年に竣工したドイツ・ネバロック様式の歴史主義建築です。

関東大震災ではほとんど被害が無かったが、太平洋戦争でほぼ失われ、復旧、改修を得た姿は美しく重厚です。



高橋武三



ハンギングバスケット部門



コンテナガーデン部門



ライフスタイルガーデン部門



# 第6回 「かっぱ橋道具街」&

# 「池波正太郎記念文庫」

かっぱ橋道具街は、大正元年頃に数件の古道具商が店を構えたこととされています。戦後になって今のような商店街に発展しました。全長約 800m道路両側に 170 店を超える道具店が立ち並ぶ道具街となりました。



ニイミ屋上ジャンボコック像でお出迎え



かっぱ河太郎 像



台東区生涯学習センター 1F



合羽橋交差点から  
スカイツリー





# 第7回 「クロネコヤマトミュージアム」



2019年に創業100周年を記念して設立されたヤマトミュージアムを見学しました。(品川駅東口から徒歩10分)

社訓

一 大和ハ我ナリ  
 二 運送行為ハ委託者ノ意思ノ延長ト知ルヘシ  
 三 思想ヲ堅實ニ禮節ヲ重ンスヘシ



ウォークスルー車：運転席が高く左側ドアがスライド、フラット床面、運転席から荷台へ移動が可能です。

## ヤマトグループが歩んだ100年の歴史

- 1919年 大和運輸株式会社創業
- 1921年 鮮魚配送開始
- 1924年 運転手に制服制帽を採用
- 1931年 現在も社員に受け継がれている「社訓」を制定
- 1951年 航空代理店業務開始
- 1957年 「親子猫」のマークを制定
- 1976年 「宅急便」発売、取次店の設置開始
- 1988年 「クール宅急便」発売
- 2000年 「環境報告書」発行
- 2013年 「羽田クロノゲート竣工」
- 2017年 「関西ゲートウェイ」開所
- 2019年 創業100周年



2020年  
令和2年



「働きやすさ」と「環境への配慮」を追究した制服



2024年4月から運航開始予定の貨物専用機



変化著しい品川駅東口（港南口）

高橋武三



# 第8回 「たばこと塩の博物館」

当館は、専売品であった「たばこ」と「塩」の歴史と文化をテーマとする博物館として、日本専売公社（現・日本たばこ産業株式会社）により1978年11月、渋谷の公園通りに開館しました。その後、2015年4月25日、墨田区横川に移転・リニューアルオープンしました。



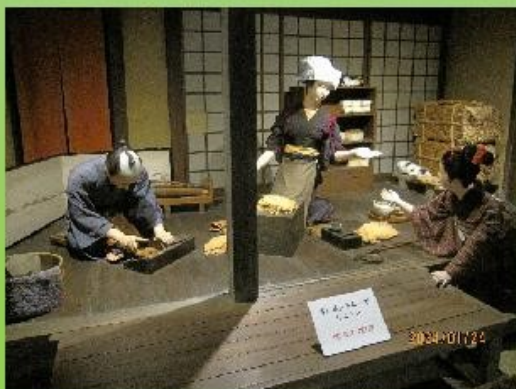
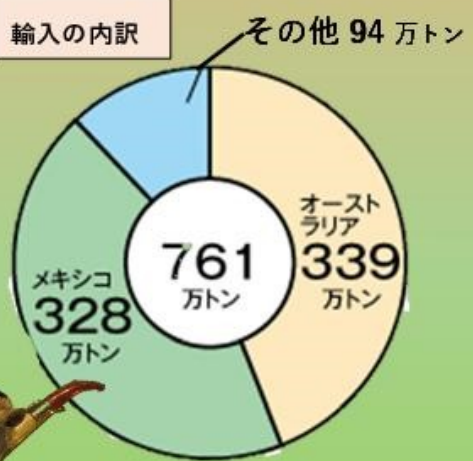
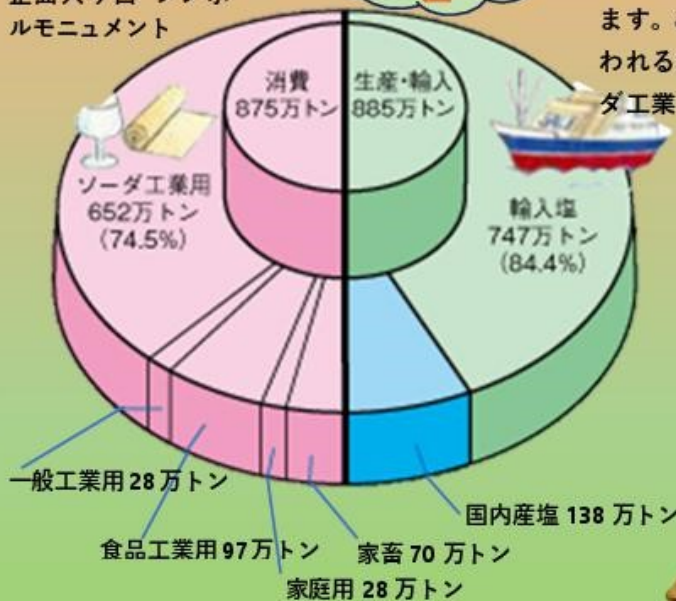
正面入り口 シンボルモニュメント



岩塩彫刻「聖キングア像」

## データで見る塩

日本では、1年間に約900万トンの塩が消費されています。このうち、調味料や食品加工など、食用として使われる量は、約15%にすぎません。残りの塩は、ソーダ工業を中心とする多くの分野で使われています。



江戸時代のたばこ屋



昭和32年ポスター



昭和32年国産初のフィルター付きたばこ

高橋武三



## 第9回 「迎賓館」(2009年国宝に指定)

迎賓館赤坂離宮は、明治42年に東宮御所として建設された、日本では唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物です。

第2次世界大戦の後、10数年を経て日本が国際社会へ復帰し、外国からの賓客を迎えることが多くなったため、国の迎賓施設へと大規模な改修を施し、和風別館の新設と合わせて昭和49年に現在の迎賓館として新たな歩みを始め、現在に至っています。



正面玄関の鉄扉



主庭：噴水



本館外観



高橋武三



# 第9回 コース 「国立昭和館」

昭和館は、国民が経験した戦中・戦後の生活に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、労苦を次世代に伝える国立の施設です。 地下鉄「九段下」4番出口から1分



昭和館外観



展示会場の説明を受けました



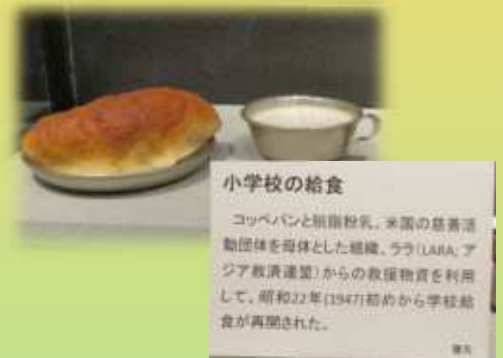
彫刻「願い」



子供たちの戦後教室



パソコンで戦中、戦後の資料を閲覧



昭和館裏から武道館を望む



解散挨拶「皆さんお疲れ様」  
「明日は学芸会です！」